

受講者各位

青森県総合学校教育センター
義務教育課長 武井 まゆみ

講座番号B09 校内研修担当者研修講座（後期）の提出物及び持参物について

標記のことについて下記のとおり連絡します。

記

1 提出物について

(1) 提出物

別紙「校内研修プラン」

(2) 提出部数 1部

(3) 提出先 下記担当宛て

(4) 提出期限 令和7年7月24日（木）

(5) 提出方法 電子メール（添付ファイル）

※Excel形式で作成されたデータでも構いません。

2 持参物

(1) 校内研究計画6部（前期の講座で未提出の受講者のみ）

3 その他

- ・市町村立学校の方は、受講者旅行報告書を7月28日（月）までに当センター総務課へメールで提出してください。
- ・県立学校の方は、受講者旅行報告書提出フォームに7月28日（月）までに回答してください。

※記入の仕方等の詳細については、当センターWeb ページ「研修講座」内「受講者用様式」で確認してください。

追加・変更の可能性がありますので、講座開始1週間前から随時当センターWebページにて、講座概要及び事務連絡を必ず確認してください。

担当：義務教育課
指導主事 津嶋 由香
電話：017-764-1996（直通）
FAX：017-728-6351
メールアドレス：tsushima-yuka@m13.asn.ed.jp

〇〇市立●●小(中)学校 校内研修プラン

研修名	
-----	--

↓

研修の概要	
-------	--

↓

研修のねらい	
--------	--

↓

研修内容に関する現状・課題	
---------------	--

↓

手立て	
-----	--

↓

研修の流れ(内容・手立て・工夫点)	体制・準備物等

↓

研修後の期待される変化	
-------------	--

(例) ○○市立□□小学校 校内研修プラン

研修名	(例) 第7回校内研修会(9月) 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり研修会
-----	--



研修の概要	主体的・対話的で深い学びの姿について、職員の共通理解を深め、手立てについて検討する。
-------	--



研修のねらい	<p>①「主体的」「対話的」で「深い学び」の姿を具体的にイメージできるようにする。</p> <p>②子どもの姿がイメージでき、教師がどのような手立てをすることが効果的かを考える。</p>
--------	---



研修内容に関わる現状・課題	<p>①主体的・対話的で深い学びの姿に対する共通理解が不十分である。</p> <p>②目指す生徒像を明らかにし、手立てを共通理解し、実践に移すことが課題となっている。</p>
---------------	---



手立て	マトリクスシートを活用したワークショップ型の研修会とし、参加者同士が関わり合いながら、本校の児童にとって有効な手立てを考えることができるようにする。
-----	--



研修の流れ(内容・手立て・工夫点)	体制・準備物等
<p>①本日の研修についての説明(7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣旨説明、主体的・対話的で深い学びについての基本的な説明 <p>②マトリクス法についての洗い出し(20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方の考える「主体的」「対話的」「深い学び」について付箋に書いて貼ってもらう。 ・□□小学校が考える「主体的・対話的で深い学び」を作っていくということを強調する。 <p>③グループ毎の発表(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで話し合った結果を3分程度で発表する。 <p>④発表の集約・まとめ(8分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループに共通する点、さらに議論する点を洗い出す。 	<p>時間 45分</p> <p>研修形態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに低・中・高が入った3つのグループで行う。 <p>準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マトリクスシート ・付箋 ペン(5色程度) ・パソコン プロジェクタ ・研修部の準備した資料



研修後の期待される変化	本校が考える「主体的・対話的で深い学び」についてまとめることができるので、各学年で実態に応じた具体的な姿を整理することが可能になるだろう。
-------------	---